

第147回簿記検定試験実施要項

主催 日本商工会議所
施行 小田原箱根商工会議所

1. 試験日 平成29年11月19日（第3日曜日）
2. 試験会場 小田原箱根商工会議所（小田原駅より徒歩5分旭丘高校隣り）
旭丘高等学校（当会議所会館隣）
3. 試験開始時刻 1級／3級 … 9時
2級 … 13時30分
4. 受験料（消費税込み） 1級 7,710円 / 2級 4,630円
3級 2,800円 /
5. 申込方法

① 窓口 受付期間 平成29年9月11日（月）～10月20日（金）
平日9:00～17:00

- ・ 当所所定の申込用紙に記入（原則として自筆）、受験料を添えて総務課までお申込ください。
- ・ 受験料は、つり銭のないようご用意ください。

② インターネット 受付期間 平成29年9月11日（月）～10月18日（水）

- ・ 受験料の他に、別途手数料がかかります。
- ・ 詳細は当所ホームページ（URL <http://www.odawara-cci.or.jp>）をご覧ください。
- ・ インターネット申込みが定員に達した場合は、窓口でお申込ください。

- ◆ いずれの申込方法におきましても、書類不備、または受付期間外の申込は無効となりますのでご注意ください。
- ◆ いかなる理由においても、一旦納入された受験料はお返しできませんので、ご了承ください。
- ◆ 申込書は、商工会議所窓口のほか、市内書店（伊勢治書店・三省堂書店・有隣堂）にて配布いたします。また、当所ホームページからダウンロードしていただくこともできますので、そちらもご利用ください。
- ◆ なお、申込期間内であっても、定員に達した場合は締め切らせていただく場合がございます。

6. 試験科目及び程度

級別	科目	程 度
1級	商業簿記 工業簿記 原価計算 会 計 学	極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができる。 【試験時間 商業簿記・会計学 90分／工業簿記・原価計算 90分】
2級	商業簿記 工業簿記	高度な商業簿記・工業簿記（初歩的な原価計算を含む）を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できる。 【試験時間 120分】
3級	商業簿記	基本的な商業簿記を修得し、経理関連書類の適切な処理や青色申告書類の作成など、初歩的な実務がある程度できる。 【試験時間 120分】

7. 合格点

- ・ 各級とも、満点を100点とし、得点70点以上を合格とします。
- ・ 但し、1級に限り1科目の得点が40%に満たない場合は不合格とします。

8. 合格発表

- ・ 2級・3級の合格者については、平成29年11月27日(月)午前10時に小田原箱根商工会議所1階ロビーに掲示するほか、当所ホームページにて発表します。
- ・ 1級は平成30年1月中旬頃、本人宛てに結果を郵送します。

9. 成績照会サービス

- ・ 当所ホームページでは、受験番号と申込時にご自身で設定した4桁の点数照会番号を入力することで、ご自身の点数を確認することができます。(2～4級受験者のみ)
- ・ 但し、閲覧期間は合格発表日から60日間となります。

10. 合格証書の交付

- ・ 合格証書は受験票と引換えになります。
- ・ 受験票をご持参の上、平日9:00～17:00にご来所ください。
- ・ 2級・3級は平成29年12月19日(火)より交付、1級は平成30年1月中旬以降を予定しております。
- ・ 平日に来所ができない場合は、翌年2月、6月の簿記検定試験日にも受付けております。
- ・ 合格証書の保存期間は試験施行日より1年間です。

11. 受験者への注意事項

- ・ 試験開始時刻までに試験会場に入場するよう、時間厳守してください。
- ・ 会場は試験開始時刻の30分前からご入場いただけます。
- ・ 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席についてください。
- ・ 受験するときに持参するものは次のとおりです。
 - (1) 受験票
 - (2) 筆記用具 (HBまたはBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム)
 - (3) そろばん・電卓等の計算用具
 - (4) 原則として氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書 (運転免許証、旅券 (パスポート)、社員証、学生証など)。ただし、小学生以下は必要ありません。
- ・ 電卓は、計算機能のみのものに限り、以下の機能があるものは持ち込みできません。
印刷 (出力) 機能 / メロディー (音の出る) 機能 /
プログラム機能 (例: 関数電卓等の多機能な電卓、売価計算・原価計算等の公式の記憶機能がある電卓) / 辞書機能 (文字入力を含む)
※但し、次のような機能は、プログラム機能に該当しないものとして、試験会場での使用を可とします。
日数計算 / 時間計算 / 換算 / 税計算 / 検算 (音の出ないものに限る)
- ・ 試験場においては、試験委員の指示に従ってください。それに従わない者は、退場させることがあります。
- ・ 試験中に不正行為があった者は、合格を取り消し、以後の受験を禁止することがあります。
- ・ 試験場でのウェアラブル端末・携帯電話・PHS・ポケットベルの使用を禁止します。必ず電源を切ってください。
- ・ 指示に従わないで、試験時間中に着信音が鳴るなどした場合は、退場させる場合もあります。
- ・ **試験会場に駐車することはできません。近隣の駐車場を利用するか、公共交通機関をご利用ください。**

「受験者への連絡・注意事項」

●受験料の返還

一度申し込まれた受験料の返還および試験日の延期・変更は認められません。

●入場許可

試験会場には所定の申込手続きを完了した受験者本人のみ入場を許可します。

●遅刻

試験開始時刻は遵守してください。

●本人確認

受験に際しては、身分証明書を携帯してください。

●試験中の禁止事項

次に該当する受験者は失格とし、試験途中で受験をお断りするとともに、今後も受験をお断りするなどの対応を取らせていただきます。

- ・ 試験委員の指示に従わない者
- ・ 試験中に、助言を与えたり、受けたりする者
- ・ 試験問題等を複写する者
- ・ 答案用紙を持ち出す者
- ・ 本人の代わりに試験を受けようとする者、または受けた者
- ・ 他の受験者に対する迷惑行為を行う者
- ・ 暴力行為や器物破損など試験に対する妨害行為におよぶ者
- ・ その他の不正行為を行う者

●飲食、喫煙

試験中の飲食、喫煙はできません。

●試験施行後に不正が発覚した場合の措置

試験の施行後、不正が発覚した場合、当該受験者は失格または合格を取り消し、今後の受験をお断りするなどの対応を取らせていただきます。

●試験内容、採点に関する質問

試験問題の内容および採点内容、採点基準・方法についてのご質問には、一切回答できません。

●答案の公開、返却

受験者本人からの求めでも、答案の公開、返却には一切応じられません。

●合格証書の再発行

合格証書の再発行はできません。

●試験が施行されなかった場合の措置

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電その他不可抗力による事故等の発生により、やむをえず試験が中止された場合は、当該受験者に受験料を全額返還いたします。ただし、中止にともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

●答案の採点ができなかった場合の措置

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、盗難等により、答案が喪失、焼失、紛失し採点できなくなった場合は、当該受験者に受験料を全額返還いたします。ただし、これにともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。